

令和4年度 第2回

公益財団法人新宿未来創造財団評議員会

議事録

※参考資料

令和4年12月19日

○石崎議長 ただいまより令和4年度の公益財団法人新宿未来創造財団第2回評議員会を開催いたします。

本日は2件の議案について御審議いただきます。よろしくお願いいたします。

議案第23号 令和4年度上半期事業執行状況及び資金運用業務状況報告について

○石崎議長 これより、議事に入ります。

初めに議案第23号、上半期事業執行状況及び資金運用業務状況報告についてを議題に供させていただきます。

それでは、事務局の説明を受けます。

(資料に基づく説明省略)

○石崎議長 それでは質疑に入ります。

議案内容が非常に多岐にわたっておりますので、分けて質疑させていただきます。

まず、事業執行状況の第1号事業から第3号事業まで、ページは2ページから4ページまで、歴史、文化、芸術、スポーツの分野について御意見、御質問いかがでしょうか。また、新任の方も多くいらっしゃいますので、どんな質問でも結構ですので、どうぞ。

(発言する者なし)

○石崎議長 特にないようでしたら、また最後で総括的な御質問も受けますので、続きまして、次に第4号事業から第7号事業まで、ページは5ページから7ページまで、子ども支援、多文化、地域支援等の分野について御質問、御意見どうでしょうか。

(発言する者なし)

○石崎議長 それでは、次に移らせていただきます。次に第8号事業から第9号事業まで、ページは8ページから11ページまで、新宿区から受託する施設の管理運営や財団の運営等の分野についてです。どうぞ。

○大和評議員 それでは質問いたします。

この今、指定された範囲だけではないんですけども、主にライブというか、舞台公演系、3号にもありますけれども、事業収益との関連で、先ほど少し回復しつつあるということで、確かにそうなっているんだろうと思いますけれども、特に講座系はあれなんですけど、上半期のライブの実績はかなり低くなっているという数値が出ていて、規制緩和が行われた10月以降、特に下半期の頭の10、11に実施している事業を含めて、さらなる回復基調が来ているのかどうか、そこら辺について御質問をさせていただきたいと思います。

○八木原文化・学習参事役 文化学習課長でございます。

大和先生のほうから今、お話頂戴いたしました件でございますけれども、確かに文化センターのほう、公演事業等、まだ回復はし切っている状況ではございません。これは私どもも実はほかの館に入っておりますも、なかなかオーケストラを含めてお客様が戻ってきていないという状況は私どもだけに限らない、割と全国的な公演の状況かというふうに考えておりました、そういった中でも比較的例えば小ホール事業ですとか、そういうところでファンをつかみやすい事業につきましては戻りが少し早めかなというふうに感じております。大ホール事業につきましては、まだまだお客様方も不安とか、あるいはなかなか一度引けてしまった心理状態がなかなか戻ってこないということがあって、これはちょっと時間がかかるかなというのが、感じるところでございまして、このあたりのところは状況含みで考えながら努力をしてまいりたいというふうに思っております。また、感染症対策については例えばロビーでかなり大きなファンを回したりとか、お客様、実際のところは全然、公立文化施設の基準はクリアしているんですけども、お客様の要するに視覚的な不安感というのを除去するのが私ども大切かと思ひまして、そのあたりのところは半年間、心がけてやっているところでございますので、もう少し状況を待ちたいというふうに考えております。

○大和評議員 特に10月以降、かなり規制緩和されましたが、その辺の変化というのはありますか、10月以降。

○八木原文化・学習参事役 実際のところ100%お客様が入っていいという状況になってはいるんですけども、その前にいわゆる市松模様で座席を配置した時期がございまして、隣が空いているということに対しての安心感みたいな、そういうのが結構あって、100%にする

と、こんなに入っているのという実はお言葉を頂戴したりするんです。そういうところからすると、実際になかなか10月以降上がってはいるんですけども、それでも顕著に戻ってきたという印象ではないです。

○石崎議長 よろしいでしょうか。

ほかの評議員、いかがでしょうか。なかなかコロナ以前に戻るというのは難しい感じですね。ただ、そこを目指していきたいと思えますけれども、よろしいですか。

それでは、次に貸借対照表以降の計算書類等について、ページでは12ページから17ページまでの内容について御意見、御質問をお受けします。御質問ありませんでしょうか。

(発言する者なし)

○石崎議長 それでは、最後に全体を通して、どんな御意見、御質問でも構いませんので、聞き忘れたとか何かありましたらどうぞ。どうぞ。島田評議員。

○島田評議員 島田でございます。初めてなので、こういう質問が適しているのかどうか分かりませんが、それぞれの御評価が記載されている、要は備考の右側の欄にある内容と、それからない内容、まだ1年間終わっていらっしゃらないので、全体の評価は早いというふうにも思いますが、観光振興協会もそうなんですけれども、今までやっていることがどうなのか、これが次回の継続性があるのか、それとも今回で1回見直すべきなのかという評価がないと、なかなか分かりづらいなというふうには正直思っております。これは意見でございます。なので、今回の全部に対して御評価がどうなのかということは、この場では分かりませんが、そういうことが分かるような内容ですと、今後の議論にもつなげられるのかなというふうに思いましたので、御意見させていただきました。

以上です。

○岡田管理担当事務局次長 御意見ありがとうございます。

御意見いただいたとおり、評価がないと、その事業がどうかといったところについてはなかなか御判断がつきづらいといったところですけども、上半期の状況で最初にお話もありましたとおり、事業全体が途中であって、講座一つ一つは終わっている講座もあるんですけ

れども、1つの全体の事業として、例えば1号事業の1-1であれば、それについては上半期やるものと下半期やるものと合わせて配分等も半分半分ではございませんので、そういったものを踏まえて年度末には総括をさせていただいて、達成率がここに書いてありますように、目標に対してどうだったかといったことについては総括をさせていただいて、それをまた次年度の運用に生かしていくという形でやらせていただいておりますので、また6月になりますけれども、決算それから数字もきちんと最終的に全ての数字が入った形で御報告を差し上げて、また御意見いただければと思いますので、よろしくお願いたします。

○柳田評議員 柳田です。評議員として初回の参加となりますので、よろしくお願いたします。

全体を今、お聞きしまして、財団の改めて幅広い事業、大変専門集団として内容の濃い多様な事業に取り組んでいらっしゃるというのが分かりました。また、子どもひろば等を子どもためのきめ細やかな対応がきちんと、それを目標にされているというのも印象的でしたし、それからそれも含めまして、区が区民サービスとして行う様々な事業を補う役割を財団が大きく担っていらっしゃるの分かりました。感染症の影響がまだまだ終わらない状況の中で大変だと思いますが、引き続き頑張ってくださいと思います。

その上で、1つ質問させていただきたいんですが、第6号事業の中の、ページでいいますと7ページ。6号事業の2番の(2)の友好都市等との交流事業、(1)のほうです、人的交流事業なんですけど、予算規模もそれなりに大きい補助事業なんですけれども、これの内容につきまして、特にミッテ区とのほう、657万5,000のうちのどれぐらいがミッテ区との事業の額なのかというのと、それから感染症で今後どうなるか、まだ実施についてははっきりしないと思いますが、通常でしたらどのように募集をかけて、どういう内容の事業をしていらっしゃるのかということ、ここにいらっしゃる評議員の皆さんと共有できるように、ざっくりと教えていただけると幸いです。

○岸田地域交流参事役 地域交流参事役です。御質問ありがとうございます。

今、御質問いただきましたのは、7ページの人的交流でございます、予算でいいますと657万5,000円という大きな予算を組ませていただいております、この中身でございますけれども、先ほど柳田評議員のほうからお話ありましたとおり、ドイツベルリン市ミッテ区との青少年交流が非常に大きな割合を占めております。それが1つです。

もう一つが長野県伊那市との民踊交流といたしまして、伊那まつりが毎年夏に行われますけ

れども、そちらのほうに民踊の団体さんが参加をされて交流をされるというもの。

それから最後に、いわゆる市民団体の方から交流をしたいといったような申請が上がってきたときに、その助成をさせていただく助成事業というものがございまして、こちらも合わせまして人的交流事業という形になってございます。

ただ、この大半がミッテ区との青少年交流という形になっておりまして、実はこの青少年交流、令和元年度、私どものほうが青少年12人をミッテ区のほうにお連れして、ミッテ区のほうで交流事業をやって以来、新型コロナウイルスの影響が大きく、ずっと受入れができていない状況でございます。本来であれば令和2年度にミッテ区の青少年の皆さんをこちらにお受けするという予定であったんですけども、令和2年度、3年度とできないままということになっておりまして、令和4年度も現状は見通しが立っておりません。最速令和5年度4月に受入れができればというようなところで調整を続けていたんですが、実は新型コロナウイルスだけの影響ではなくて、飛行機のチケット代が非常に高騰しているということがございまして、ミッテ区のほうの予算を大幅に超えるような価格設定になっているということで、なかなか4月の受入れも現状は難しいという状況になっております。

また、こちらにお越しいただいたときに、どういうプログラムを実施をさせていただくかということでございますけれども、これまでは平成30年度、一番最新の情報でございまして、こちら例えば東京都庁の展望台の見学に行ったりですとか、私どもの指定管理施設である林芙美子記念館等々、そういったところを回っていただいたりですとか、落合染物ガタリの御経験、それから新宿区の都市計画のほうに御協力をいただきまして、都市計画の考案、それから着物・お茶の体験、ユニバーサルスポーツの体験等々、そういったスポーツ、文化の体験もしていただいた上で、区長のほうにも表敬訪問していただいて、最後さよならパーティーという、そういうものを行う。この期間中に特徴的なものとしてはホームステイという、それぞれの御家庭に御協力いただいて、そこで食事を共にしていただいたり、一緒に泊まっていたりというような取組もやってまいりました。私どものほうがドイツのミッテ区に行かせていただいたときも、同じような形でスポーツ、文化の体験、それからホームステイという形が通常の交流の形になってございます。

ただ、今後交流を行うに当たりまして、ホームステイという形がなかなか難しい状況もございまして、例えばホームビジットといったステイ、つまり泊まりはしないんですけども、一緒に御家族という単位でいろんな経験をしていただいたり、一緒に出かけていただいたりといったようなことも含めまして、少しプログラムのリニューアルが必要ということで、

現状長い期間でありますけれども、準備に努力を重ねているところでございます。

○柳田評議員 ありがとうございます。

この予算額の大半が、直近ではどうなるか分からないんですけれども、ミッテ区との交流事業に充てられるものだというふうに理解したんですけれども、今、ざっくりとしたお話を聞きましたところ、実はこの事業はこちらのオレンジ色のほうの事業計画、収支予算の68ページなのですが、内容説明のところにも1993年からスタートしている事業なんですね。実は初回、1993年、私がこれ担当していたこともありまして、内容をよく知っているんですが、今、お聞きしますと、ほぼ変わっていない、同じ内容になっております。30年たっています、当初始めてから。当時はインターネットがまだ普及していないんです。皆さん御記憶にありましたらポケベルとかの時代です。もちろんSNSとかも今のツイッターだとかフェイスブック、そんなの一切ないですし、やり取りもドイツ側とはファクスでやっていた、そういう時代でございました。もちろんどの事業もいい事業だと思うんですが、30年たっていて、世の中の状況がこれだけ変わってきていて、人々の意識も変わっていて、あるいは感染症も私たちは経験して、様々なことがある中で、大きな抜本の見直しをしていい時期ではないかと思えます。なくしてほしいということではないんです。せっかく友好都市を新宿区は持っていますので、いい形で活用していければとてもいいものになっていくのかなと思うんですが、例えばいろんな意見も専門集団である財団の皆さんで相談していただいて、それこそ未来創造の財団なので、どういう事業にしていくのが区民サービスにとって、区の若い人たちにとって最善なのかをぜひ意見を出し合っていたきたいと思えます。

今、プログラムのリニューアルが必要だというふうにおっしゃったんですが、ちょっとしたリニューアルというのではなくて、本当に抜本的に考えてみるのがいいのかなと思えます。例えばの話なんですけど、職員交流にしてしまっただけで1か月から3か月ぐらいの間、財団の職員が向こうに行って、向こうのことを学んで、新宿区の紹介をしたり、新宿区に向けて発信するとか、向こうの職員に来てもらって、1人でいいんですけれども、現地のことを教えてもらったり、事業に生かしたり、講座をしたりといったことも考えられると思えますし、あるいは青少年が派遣されるのであれば、一般公募で成績のいい人をとって、そういう発想ではなくて、特派員のような形で数名の人たちに向こうに行ってもらって、今、Z世代の人、若者たち、それぞれが発信する人たちなんです、みんな。そういったことも活用して財団の事業、あるいは新宿区の発信を財団の管理の下ですけれども、やってもらうとか、向こうの若

者に来てもらったり特派員の仕事をしてもらおうとか、せっかく築いてきたものであるので、それをもっと大きく飛躍させるような事業にぜひ皆さんのお知恵で変えていただければいいのかなと思ったりしているところです。

すみません、長くなりました。

○岸田地域交流参事役 御意見大変ありがとうございます。

おっしゃるとおりだというふうに私どもも考えておりまして、この青少年交流は12名の青少年が毎年行き来をしているわけですが、それにこれだけの予算をかけて実施をさせていただいておりまして、しかもプログラムにつきましては、毎年の中身は少し変えながらも大筋は変えないできているということがございます。先ほど柳田評議員のほうから御指摘ございましたように、SNS等が非常に発達をしてきておりまして、例えばドイツの現地の様子というのは、昔と違って映像ですとか画像等で容易に知ることができるというような時代における交流の在り方というものを抜本的に考え直す時期に来ているという認識はございます。

これは参考になるか分かりませんが、令和元年度に実はギリシャ共和国レフカダ市のほうでグリーンハーフマラソンというマラソンが開催されるということで、これは特に私ども予算立ては全くしていなかったんですけれども、広報だけして参加する人いませんかというような広報をさせていただきましたところ、1家族、参加するというところで、御自身の力でギリシャのほうに行かれて参加をされて、ギリシャのほうのそれぞれのスタッフの方々とも接見をされて、報告をいただけたというようなことがございます。

私どもでこの事業の趣旨としては、いわゆる市民交流でございますので、12人の青少年だけではなくて、多様な地域団体の方々がいろんな国の状況を動画とかSNSで我々が発信することによって、それを知ることができて、自分たちも行ってみたいといったような地域団体を支援するような形で、行った後の交流の実績ですとか広がり担保されるようにといたしますか、普及されていくような、そういう交流事業のほうは今後の時代に合った形になるのではないかというふうに考えておりますが、一方でドイツのほうは、いわゆる青少年育成の担当課がこの事業を担当しているということがございまして、どうしても青少年交流というところについて協議をさせていただく中で、なかなかドイツミッテ区の御了承をいただけるかどうかというところが少し壁になるところがございますけれども、今後、新宿区並びにミッテ区と話し合いを重ねながら新しい交流の在り方を検討してまいりたいと思います。ありが

とうございます。

○石崎議長 今後に十分な検討をしていただければいいと思います。

ほかの評議員からどうでしょうか。特にございませんか。

(発言する者なし)

○石崎議長 それでは、御発言がなければ質疑を終了いたします。

議案第23号、上半期事業執行状況及び資金運用状況、資金運用業務状況報告についてを原案どおり決定することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○石崎議長 異議なしと認め、議案第23号は原案どおり決定いたします。

議案第24号 令和4年度事業計画及び収支予算の補正について

○石崎議長 次に、議案第24号、令和4年度事業計画及び収支予算の補正についてを議題に供します。

それでは、事務局の説明を受けます。

(資料に基づく説明省略)

○石崎議長 それでは、質疑に入ります。

議案第24号について、御意見、御質問いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○石崎議長 それでは、御発言がなければ質疑を終了いたします。

議案第24号、令和4年度事業計画及び収支予算の補正についてを原案どおり了承すること

に御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○石崎議長 異議なしと認め、議案第24号は原案どおり了承いたします。

以上で本日予定していた議事は終了となりますが、皆様、御意見ここまでいかがでしょうか。ございませんか。

(発言する者なし)

○石崎議長 それでは、特にないようですので、以上で議事を終了いたします。

<以下、報告事項は省略>